PRO MUSICA NIPPONIA 200 ～200の創造・未来へ～

PRO MUSICA NIPPONIA

第199回 定期演奏会 日本音楽集団 PRO MUSICA NIPPONIA

The 199th Regular Concert

日本音楽を呼び覚ました 三木稔作品

2010年5月19日［水］
午後7時開演
第一生命ホール

主催：特定非営利活動法人日本音楽集団
NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク／第一生命ホール
助成：財団法人 ロームミュージック ファンデーション

■ 日本音楽集団：http://www.promusica.or.jp/　E-mail：office@promusica.or.jp
■ トリトン・アーツ・ネットワーク：http://www.triton-arts.net

日本音楽集団第199回定期(200回定期シリーズ)に寄せて

三木　稔

遂に新たな節目が来ましたね。出入りの激しい現代社会状況にも拘らず、田村代表初め、頑張っている現役の皆さんに心から感謝します。私は、かつて存在しなかったこの分野だからこそ、互いに切磋琢磨して向上する複数の団体が必要と言い続け、あろうことか自分で辞してオーラJを創立し、残された時間で出来る限りの努力をしていますが、日本音楽集団に関しては1964年の創立以来20年間、西洋音楽にはない新しい音楽の供給源となれるプロフェッショナルな演奏集団、いや東洋を背負う創造軍団といっても強がりではないほどの抱負を持って、あらゆる角度からの努力を惜しまず、邦楽器の現代化・国際化に臨んだ記憶はどこまでも新鮮です。

当時私の心根に組して、厳しくも熱く応援してくれた方々、一方で火花を散らして対峙した作曲家・評論家・ジャーナリストの多くは逝き、80歳になってまだ第一線にいる私は強い孤独感に苛まれることがあります。私が全力を傾倒して次々に新しいプロジェクトをこなしていくことができた70年代から80年代初めにかけて、まさに黄金期の燃えるような集団は夢のまた夢、と諦めつつ、書き綴った音符や言葉が媒介して甦ってくる若い世代のパッションに出会うと、今のアーチストたちとは気質が違うとの思い込みはどこかへ、君たちに託したよと安堵することも結構多くなっています。日本すべてがトーンダウンしている中、今頑張ればかならずこの分野は頭一つ先に出られるでしょう。期待しています。

三木稔プロフィール
《春琴抄》から《愛怨》までの「三木稔、日本史オペラ8連作」に加え第9作《幸せのパゴダ》が完結寸前。《愛怨》は現在ドイツで上演中。日本音楽集団(1964)以来、三木オペラ舎(旧歌座)・結アンサンブル・オーケストラアジア・オーラJ・アジア アンサンブル、北杜国際音楽祭を創立し、例のない創造・プロデュース活動を国際的に展開。《急の曲 Symphony for Two Worlds》などの管弦楽曲、欧米で1万回も演奏の《Marimba Spiritual》など室内楽・打楽器作品の多くは国際的なレパートリーとなっている。芸術祭大賞・紫綬褒章他、昨年「福岡アジア文化賞」の「芸術・文化賞」を日本人で初受賞。各種楽譜・CD「三木稔選集I〜VII」・著書「日本楽器法」など出版多数。詳細は www.m-miki.com 参照。

---

1. わ 6人の邦楽器奏者のための　三木 稔作曲(1976年)

"Wa" for 6 Japanese instrument soloists

[尺八]元永 拓　[三味線]山崎 千鶴子　[琵琶]久保田 晶子
[二十絃]早川 智子　[十七絃]久本 桂子　[打楽器]盧 慶順

1976年、ニューヨークのアジアソサエティー主催で「日本音楽集団のソリストたち」がカーネギーホールなどアメリカ・カナダ15ヶ所を巡演した際、音楽監督として随行した三木は、尺八・三味線・琵琶・二十絃箏・十七絃の5人のソリストによる編成の曲がそれまでに存在しなかったので新たに作曲する必要を感じ、自らが打楽器を演奏で加わるこの《わ》を創作した。《わ》というタイトルは、日本及び平和に関わる「倭」「和」と、手を繋ぐ「輪」、小さな驚きの「ワッ」などの意味を合わせ持ち、シリアスな前半と即興的な後半で狙い通りの反応を得、その後も小編成で海外にて演奏するのに格好の作品として重用されている。

2. 邦楽器のためのコンポジションII 秋岸 寛久作曲(2010年)委嘱初演

[笛]竹井 誠　[尺八I]渡辺 淳　[尺八II]原郷 隆
[三味線]守 啓伊子　[琵琶]藤高 理恵子
[二十絃I]熊沢 栄利子　[二十絃II]三宅 礼子　[十七絃]彦坂 恵美
[打楽器I]高橋 明邦　[打楽器II]望月 太喜之丞　[打楽器III]島村 聖香
[指揮]秋岸 寛久

昨年三木先生にお会いしたときに、今日の演奏会で新作を初演させていただくことについて「プレッシャーを感じています」と言うと、「気楽にやってください」と言ってくださいました。それでもプレッシャーから解放されたわけではありませんが、いろいろと悩んだ末に、聞いてくださる方にとって気楽に楽しんでいただける曲にしようという思いに至りました。本日のプログラム、まわりは名曲ばかりですからね。でも、逃げたわけではありません。楽しく軽快な約10分の曲の中に、精いっぱい邦楽器アンサンブルの魅力を詰め込んだつもりです。お楽しみください。

3. ロータス・ポエム 独奏尺八と邦楽器群のための　三木 稔作曲（1994年）

"Lotus Poem" for solo shakuhachi and Japanese instruments

[独奏尺八]三橋 貴風
[笛]竹井 誠　[尺八]加藤 秀和
[細棹三味線]簑田 司郎　[太棹三味線]山崎 千鶴子　[琵琶]藤高 理恵子
[二十絃I]熊沢 栄利子　[二十絃II]桜井 智永　[十七絃]久本 桂子
[打楽器I]望月 太喜之丞　[打楽器II]盧 慶順
[指揮]田村 文生

蓮は極楽浄土に似合う。第二次世界大戦から半世紀が経った。日米とも、沢山の人々が犠牲になった。当時少年ながら、あの地獄を体験した私から、その人たちを悼む気持ちがいつまでも離れない。この曲も、その追悼と永遠の平和願望に添っている。独奏尺八と邦楽器群の協奏曲だが、通常のように互いに拮抗することはなく、慎み深く共存する。情緒的に言えば、蓮の台を訪れた尺八が、時間のない時を過ごし、ほのかな夢を共にして去って行く、というような構図を思って書いた。1994年ニューヨーク・フィルと日本音楽集団による《急の曲》米初演の機会に、共同委嘱者アイオワ大学で初演。　（初演プロより）

（休　憩）

4. 四群のための形象　三木 稔作曲（1967年）

FIGURES for four groups

文様（あや）[箏I]桜井 智永　[箏II]三宅 礼子　[十七絃]彦坂 恵美
居機（いき）[竜笛]竹井 誠　[能管]西川 浩平　[尺八I]米澤 浩　[尺八II]阪口 夕山
曲（くせ）[細棹三味線]杵家 七三　[太棹三味線]山崎 千鶴子　[琵琶]田原 順子
擣（とう）[打楽器I]望月 太喜之丞　[打楽器II]仙堂 新太郎

レパートリーが《くるだんど》だけで結成した日本音楽集団の初期には、全員の合奏のみならず様々の形式や様式の作品が必要だった。絃楽器を代表する箏群の『文様（あや）』、管楽器の『居機（いき）』、打楽器の『擣（とう）』で《三群のための形象》を書き、初演された1967年の第6回定期演奏会で集団は初めて芸術祭で奨励賞を受賞。69年には抱絃楽器の『曲（くせ）』を加えて《四群のための形象》は完成した。漢字表題で各曲の視覚的形象を判然とさせ、日本語の母音を振り分けて聴覚上の各楽器群の個性表現を求めたあたり、作曲者の西欧に対峙する演奏軍団養成の創造姿勢が強く反映している。

5. ダンスコンセルタントI「四季」三木 稔作曲（1973年）

Dances Concertantes No.1 "Four Seasons"

[笛]竹井 誠
[尺八I]米澤 浩　加藤 秀和　阪口 夕山　[尺八II]元永 拓　渡辺 淳　原郷 隆
[三味線]簑田 司郎　守 啓伊子　[琵琶]久保田 晶子　藤高 理恵子
[箏I]熊沢 栄利子　山田 明美　高橋 はるな　[箏II]桜井 智永　渡辺 正子　彦坂 恵美
[十七絃]久本 桂子　佐藤 里美　丸岡 映美
[打楽器I]尾崎 太一　[打楽器II]高橋 明邦／島村 聖香　仙堂 新太郎
[指揮]田村 拓男

日本音楽集団を、邦楽器のオーケストラというより国際的でプロフェッショナルな民族楽器ソロ集団に育てようと考えていた三木は、1970年に北軽井沢で始めた「邦楽器合奏研究会」の初期の受講生たちには「プロになれ！」と檄を飛ばし、彼らから現在を背負う俊秀が生まれたが、3年目あたりからアマチュア演奏家のための合奏曲の必要を痛感し、そのために作曲したのが、それまでに書いた舞踊音楽等の要素を再構成した《ダンス・コンセルタント》シリーズ4作である。1973年に生まれた第1番「四季」の《踊る春》、《水巡る》、《秋、そして》《風の花》（後に《エピローグ》追加）という、それまでに見せなかった情緒的な表題はアマチュアへの愛情が生んだものだが、日本音楽集団は各曲の持つヘテロフォニーなど日本独特の合奏方法を生かして、この曲を西洋と異なる日本の代表的な合奏作品に完成させていった。

秋岸寛久プロフィール
助川敏弥、浦田健次郎、三木稔の各氏に師事。東京音楽大学卒業時に作曲した「三味線とオーケストラのための協奏曲」が仙台フィル、日本フィルの定期演奏会等で演奏される。同大学研究科を修了後、日本音楽集団に入団。日本フィル九州公演、横浜国大グリークラブ、NHK邦楽技能者育成会、オーストリア・シュライニング音楽祭、オーケストラ・アジアなどからの委嘱や、市川猿之助スーパー歌舞伎の音楽、NHK伝統和楽団の編曲等を手がける。

● 賛助会員へのお誘い ●

1999年10月、特定非営利活動法人日本音楽集団が発足したのを契機に、賛助会員を募集しています。
多くの方々からの支援を仰ぎ、息の長い活動の定着と発展を目指したく、ご協力をお願い申し上げます。

年間　個人会員10,000円(一口以上)　法人会員30,000円(一口以上)

【賛助会員】五十音順

法人

㈱全音楽譜出版社
㈱宮本卯之助商店
NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク

個人

徳子　茂重子子
正慶　七邦治
野川田村辺辺
水宮吉吉渡渡

明幸史史見仁子
利素浩正恵　優
藤田川野井谷山
佐四添棚土東富

子縁枝衣子正子
智　富颯悦　陽
井西関田塚壁藤
石江大太大川後

隆堯枝平世五輔
　光良英眞克
木柳山香吹達井
青青青浅朝安新

INTERNATIONAL MUSIC SERVICE
ims

アイ・エム・エス

●楽器リース●保管●移動●ステージ・スタッフ派遣
〒167-0043東京都杉並区上荻2-3-4　ゆうでんビル
PHONE.03-3397-2292
FAX.　03-3397-7728
URL : http://www.ims-tokyo.co.jp
E-mail : ims-mail@ims-tokyo.co.jp

粋に愉しむ

株式会社 琴光堂

〒152-0003 東京都目黒区碑文谷2-19-15
TEL **03(3792)8481** FAX 03(3792)8437
URL : http://kinko-do.com/
E-mail : tokyo@kinko-do.com

特定非営利活動法人
日本音楽集団

〒151-0073　東京都渋谷区笹塚3-17-1 滝沢ビル302　TEL03-3378-4741 FAX03-3376-2033
ホームページ http://www.promusica.or.jp/　E-Mail office@promusica.or.jp